

授賞式で笑顔を見せる(右から)大森さん、平光さん、出宮さん＝ルーマニアの首都ブカレストで(平光さん提供)



# 自分たちのジャズ通じた

## 市内拠点「平光広太郎トリオ」

市内を拠点に活動するジャズトリオ「平光広太郎トリオ」が、5～13日にルーマニアで開かれた世界大会「ブカレスト・インターナショナル・ジャズコンペティション」で準優勝した。2007年に始まった大会で、メンバー全員が日本人のバンドとしては歴代最高位だった。(水谷元海)

## オリジナルも演奏 世界大会で準V

バンドは、ピアノの平光広太郎さん(40)＝東郷町、ベースの出宮寛之さん(39)＝南区、ドラムの大森ひろさん(40)＝名東区＝で構成。15年に結成し、これまでにアルバムを2枚制作。東海地域を中心に数々のコンサートに出演してきた。

大会は、世界中からさまざまなジャンルの演奏家が集うルーマニアの音楽祭「EUROPAfest」の一部。音源審査を通過した18カ国の21組が参加し、平光さんのバンドは2位に贈られる「ベストバンド賞」を受賞した。

大会の上位3組が進出した決勝では数百人の観客を前に各組が4曲ずつ披露。平光さんらは、コロナ禍で音楽活動が制限された日々の憂鬱や収束後に海外で演奏できるようになった喜びを巧みに表現したオリジナル曲「未だ知らぬ街」などを演奏し、喝采を浴びた。

平光さんは「普段通りの演奏がどこまで通用するか試してみたかった。1位になれなかったのは悔しいが、海外でも自分たちの演奏が認められたのは素直にうれしい」と話している。